

## 重点都道府県等調査票

都道府縣市名：広島市

本研究への参加に同意する . . .  諾 . 否

※参加いただける場合には「諾」を○で囲み、以下の調査にご回答をお願いします。参加が困難である場合には「否」を○で囲み、以下に回答されることなく本研究班事務局に本調査票をご返送ください。

本研究以外での情報の利用について . . .  諾 . 否

※提供する情報が将来新たに計画・実施される医学研究に、倫理審査委員会の新たな承認の後、使用されることに同意いただける場合は「諾」を○で囲んでください。

### 【返送先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL：092-642-5603 FAX：092-642-5618

E-mail：hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp

【モニタリング項目1】

HIV感染者・エイズ患者新規報告数（2022年～2024年）

	2022年	2023年	2024年
HIV感染者（人）	6	7	5
エイズ患者（人）	5	4	3
新規報告数合計（人）	11	11	8

国勢調査人口（直近）： 1,173,892（人）（令和7年12月1日現在）

HIV検査種別検査件数・陽性件数（2022年～2024年）

	2022年	2023年	2024年
平日検査件数（件）	815	1128	977
うち陽性件数（件）	3	2	2
夜間検査件数（件）	148	115	164
うち陽性件数（件）	0	0	0
休日検査件数（件）	33	19	64
うち陽性件数（件）	0	0	0
迅速検査件数（件）	996	1262	1205
うち陽性件数（件）	3	2	2
郵送検査件数（件）	0	0	0
うち陽性件数（件）	0	0	0

エイズ対策に係る計画

策定の有無 . . . 有 . 無

※有であれば直近に策定された計画の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません。

- ・ 本市においては、「広島市感染症予防計画（令和6年3月策定）」を策定しており、個別の感染症への対応として、エイズ対策に関する予防計画の記載がある。

エイズ対策推進協議会

開催の有無 . . . 有 . 無

※有であれば直近で開催された協議会の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません

- ・ 広島県が開催している協議会に保健所長が委員として出席している。

## 【モニタリング項目 2】

### 普及啓発および教育についての課題と対応策

(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)  
※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

#### 【課題】

- ・ SNS を通じた個人間の交流が増加しているため、若年層に対し、不特定多数との性的接触による感染リスクや感染予防策を周知する必要がある。

#### 【本市の取組】

- 1 MSM 層に対する啓発  
NPO 法人と連携し、市内繁華街のゲイバーを個別訪問して HIV に関する啓発資料の設置・配布を依頼している。
- 2 若年層に対する啓発  
感染拡大が懸念される若年層に HIV に関する正しい知識を普及するため、以下の取組を実施している。
  - ① 世界エイズデーなどの啓発期間に、臨時検査を実施するとともに、啓発ブースを設置する。
  - ② 市内の学校等からの依頼に基づき、医師や保健師を講師とした性感染症に関する出前授業を実施する。
  - ③ 二十歳を祝う集い(かつての成人祭に該当するもの)において、リーフレット配布などの啓発活動を実施する。
- 3 性風俗産業従事者に対する啓発  
広島県警と連携し、性風俗産業の事業者が警察署に届出等を行う際に、リーフレットを配布する。

### 検査相談体制についての課題と対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

- ・ 受検者の利便性向上のため、令和6年度から従来の電話による平日勤務時間における予約に加え、WEBにより24時間いつでも予約を可能とした。

#### 医療提供体制について課題と対応策

(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

なし

#### 地域特有の課題とそれに対する対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

##### 【課題】

市内には平和記念資料館など文化施設が多く、国際平和文化都市として、外国人市民などが生活拠点となるように多文化共生のまちづくりを推進しており、これらの方に対して HIV 検査や感染予防策を周知する必要がある。

##### 【対応策】

HIV 検査に係る申込書兼結果通知書については、日本語と併せて英語を記載しているが、その他の取組は現在検討中。

【モニタリング項目3】

エイズ対策促進推進事業実績額（普及啓発および教育、医療提供体制の再構築）  
（直近3年間）

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください  
（別添資料があれば添付でも構いません）

2024年度：552,140円

2023年度：113,187円

2022年度：252,798円

特定感染症検査等事業実績額（保健所等におけるHIV検査・相談事業）  
（直近3年間）

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください  
（別添資料があれば添付でも構いません）

2024年度：2,785,522円

2023年度：2,353,438円

2022年度：3,097,654円

**これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方**

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行により保健所の HIV 検査は一時減少したが、夜間・休日検査の実施などにより、検査数はコロナ前の水準まで回復している。しかし、本市における新規HIV感染者等（HIV感染者、エイズ患者）の届出数は、下げ止まりの状況である。

このため、検査に行きづらい若者などに向けた新たな検査手法として、広島県や関係機関と連携し、エイズ予防指針に盛り込まれた郵送検査等の活用を検討することとしている。

**エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄**

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)